



重要なお知らせ

皆様よくご存じのジム・リカード(James Rickards)さんと私は 20 年来の友人です。

私の勉強会(経済セミナーなど)にもよく来てくださいます。

本年 4 月 17 日の経済セミナーに来られる予定でしたが、かねてからジムさん発案でトランプ大統領が大統領令を出した国有地鉱山開発の件に関する会議がホワイトハウスで開かれることになり、来られなくなったので、ビデオで金価格と来月 6 月に重大な出来事が起きることについて、公表する前に増田塾の皆さんと経済セミナーに参加された方々にのみ「緊急情報」をいただけることになりました。

皆様もご存じの通り、日米株価は史上最高値を何度も更新し、先週金曜から大幅な下げに転じています。

増田塾の皆様には、先週の初めに金曜から下げ、来週(今週)月曜から大きく下げると言って新規売りとしりポジションはナンピン、買いポジションは利益確定のアドバイスをしました。

私がシニアフェローを務めるシンクタンクが、ワシントン DC で安全保障に関係する上院、下院議員と主な国の駐米大使が参加する会議を主催しました。

メディアオフレコ、撮影禁止で自由に意見が言えるように配慮したことから実に面白い結果になりました。(追って本誌で報告をいたします)

イスラエルの「ネタニヤフ首相の本心」は私なりに承知していますが、確かめておく必要があるので、以前から知ってるイスラエル軍の駐米代表と 30 分ほど話をし、私の思っていたことが正しかったことを確認出来ました。

アメリカとイランがイラン戦争停戦協定を始めようとしている時イスラエル軍がレバノンを猛攻撃し、3,000 人以上の犠牲者を出した為イランは停戦協定をボイコットしましたが、トランプ大統領がネタニヤフ首相に抗議をした為、急速にイスラエルとレバノンとの間で停戦協定の運びとなり、アメリカとイランの交渉が始まりました。



トランプはイスラエル軍のレバノン攻撃を知ってびっくりしてネタニヤフ首相に電話して攻撃を止めさせたということになっていますが、イスラエル軍の行動はすべて事前にトランプ大統領に連絡されています。

重要なのはトランプとネタニヤフの「出来レース」

は何の為であったのかです。

韓国をはじめアジア、アフリカなど多くの大使の皆様とお話しましたが、私が話しが出来るなと思ったのはアメリカの国務省で 40 か国の大使館で勤務した経験のある女性外交官とイスラエル軍代表だけでした。

私の印象ですが、どこの国の大使も、これでは「赤子の手をひねるようなものだ」、インテリジェンスの幼さにはつきり言って驚きました。

私の留守中の 5 月 7 日にジムさんから重要なメッセージが届いていました。

「株式市場とリスク」という題で 2 ページにわたるもので、経済ファンダメンタルズが最悪な時に何故株価が最高値になるのか、今日の市場はバブルなのか、正常なのか、リスクは何か、など投資家なら喉から手が出るようなお話です。追って増田塾の会員の皆様だけにお送りします。

ジムさんは 6 月の大事件を事前に知れば、「大切な財産を失わないで済む、いや増やすことさえ出来る」と言っています。

増田塾に今すぐ入会すれば明日ジムさんの「株式市場とリスク」が入手出来ます。

取り急ぎ、